

臨床研究協力についてのお知らせ

当院では、下記臨床研究を、静岡厚生病院倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して実施します。

研究課題名	回復期病棟に入院中の高齢者における多剤服用に対する取り組み
当院での実施期間	倫理委員会承認日から 2025年3月31日まで
研究について	<p>静岡厚生病院では、回復期病棟に入院された患者様につきまして、小児科でも担当をしています。他院から当院回復期病棟に転院となった新規の入院患者様を当科として担当し、対応するに当たり、服用される薬の管理を課題の一つとして認識しています。前医より引き継いだ服用薬を確認して、患者様の状態に合わせて必要性の有無を検討しています。それに基づき、中止できるものは極力中止し、最長3か月間の在院期間中に観察を進めながら、退院後の担当医に引継ぎを行っています。</p> <p>その実際について、75歳以上の患者様を対象として、診療録をもとに分析を試みる研究です。</p>
研究の目的	<p>高齢者の多剤服用に関する課題は大きく、2024年7月にも、「病院および地域における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方」について新たな指針が取りまとめられたことのお知らせが厚生労働省よりなされています。静岡厚生病院(265床:一般病棟130床、地域包括ケア病棟40床、回復期病棟95床)では、回復期病棟に入院する比較的合併症の少ない高齢者に、2023年3月より小児科も担当医として対応してきています。高齢の入院患者様の多剤服用について、直面した課題を整理し、それに対する取り組みについて分析します。</p>
情報の利用方法	<p>得られた成果は、学会で発表し、また論文の形にして、社会に問いかけていきたいと思えます。病気を抑え、健康を維持していくために、必要な薬を適切に賢く服用するという、当たり前の医療の実践に結びつけます。</p>
研究対象者	2023年3月～2025年2月の2年間に回復期病棟に入院された患者様のうち、研究責任者が担当した患者様
研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、入院理由の疾患名、入院期間、処方歴 データ保存期間:原則として研究結果の発表後、5年間
研究における医学倫理的配慮	本研究データから患者様本人を直接特定できる情報(患者IDやお名前など)を削除し、患者様を特定できない状態(匿名化)で情報提供します。
研究責任者(お問い合わせ)	JA静岡厚生連 静岡厚生病院 小児科 診療部長 田中 敏博 電話:054-271-7177(代表)

この研究についてご不明点がある場合、あるいは研究対象となる患者さんまたは代理人の方が情報の利用に同意されない場合には、上記連絡先までお申し出ください。

同意されない場合でも当院における診療や治療において、不利益が生じることはありません。